

## 令和6年度 第1回 海部圏域保健医療福祉推進会議 議事録

日時：令和6年8月26日（月）午後1時30分から午後2時00分まで

場所：津島保健所 大会議室

時 間	発 言
開会 (加藤次長)	<p>お待たせいたしました。 定刻になりましたので、ただ今から、 「令和6年度 第1回 海部圏域保健医療福祉推進会議」を開催させていただきます。 それでは、開会にあたりまして、津島保健所 近藤所長から御挨拶を申し上げます。</p>
所長挨拶 (近藤所長)	<p>津島保健所長の近藤でございます。 本日は大変お忙しい中、令和6年度第1回海部圏域保健医療福祉推進会議にご参加いただきありがとうございます。 また、いつも本県の健康福祉行政に関しまして、格別のご理解とご協力を賜り、この場を借りまして厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。 さて、この会議は保健医療福祉に関する施策につきまして関係者の皆様方からご意見を頂戴するとともに関係機関相互の連携を図ることを目的として開催をしております。 本日の会議では、愛知県の海部福祉相談センターが所管をしております介護保険施設等の整備承認に対してご審議をお願いするとともに、昨年度、当会議におきましてご審議いただきました愛知県地域保健医療計画の冊子が発刊されましたので、皆様に手に取っていただきまして、その概要をご説明させていただくことにしております。 今年の夏は全国的に記録的な猛暑日が続いておりますけれども、本県では7月3日を皮切りに食中毒警報を複数回発令させていただいております。ご出席の皆様方におかれましても日頃から食中毒予防の三原則でございます、菌を付けない、菌を増やさない、菌をやっつける、これにご留意をいただきまして食中毒の発生防止にご協力をお願いいたします。 最後になりましたけれども本日ご出席の皆様には忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたしまして私からの開会のご挨拶とさせていただきます。それではどうぞよろしく願いいたします。</p>
書類確認 (加藤次長)	<p>申し遅れましたが、私は、本日の会議の司会を担当させていただきます津島保健所次長の加藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 ここで、御出席していただきました皆様方を御紹介させていただくことが本意でございますが、時間の都合もございますので、配布いたしました「出席者名簿」及び「配席図」をもちまして、御紹介に代えさせていただきます。</p>

	<p>続きまして、資料の確認をさせていただきます。 次第を御覧ください。</p> <p style="text-align: center;"><b>【次第に沿って資料確認】</b></p> <p>不足している資料がございましたら、お知らせください。 よろしいでしょうか。</p> <p>続きまして、議長の選出となります。 「愛知県圏域保健医療福祉推進会議開催要領」第4条第2項により、御出席の構成員の中から互選により決めることとなっております。</p> <p>事務局といたしましては、 津島市医師会長 奥村 様 に、お願いする提案をさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><b>【異議なしの声】 ⇒ 【議長の札が奥村会長の前に置かれた】</b></p> <p>それでは、以後の議事の進行は議長にお願いします。</p>
<p>議長選出 (加藤次長)</p>	
<p>議長就任 (奥村議長)</p>	<p>津島市医師会長の奥村でございます。 議長を務めさせていただきますので、 よろしく申し上げます。</p>
<p>公開非公開確認 (奥村議長)</p>	<p>今回の会議は協議事項と報告事項が1つずつあり、適切な議事進行に努めますので、御協力いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>議事に入る前に、 本日の会議の公開・非公開の取り扱いについて、 事務局から説明してください。</p>
<p>報告 (安藤補佐)</p>	<p>当会議は、開催要領第5の第1項により原則公開としており、本日の議題につきましては、不開示情報等は含まれておりませんので公開とさせていただきます。</p>
<p>報告内容確認 (奥村議長)</p>	<p>事務局説明のとおり、本会議は公開となります。 なお、本日の会議での発言内容、発言者名を、後日、愛知県のホームページに会議録として掲載することにしておりますので、御出席の皆様におかれましては、あらかじめ御承知ください。</p> <p>続いて、要領に則り出席の確認を行います。</p>

出席者数確認 (奥村議長)	愛知県圏域保健医療福祉推進会議開催要領第4の第3項に基づき構成員の出欠状況を事務局から報告してください。
報告 (安藤補佐)	<p>本会議の構成員は19名です。</p> <p>午後1時30分現在の出席状況は代理出席も含めて17名、欠席構成員数は1名です。</p> <p>したがって、要領第4の第3項に規定されている、構成員の過半数以上の出席があることを報告いたします。</p>
報告内容確認 (奥村議長)	ただ今、事務局から報告のありましたとおり、過半数以上の出席があることを確認しましたので、議事を進めます。
審議事項議事進行 (奥村議長)	<p>議事の一つ目は審議事項です。</p> <p>審議事項「介護保険施設等の整備承認について」審議いたします。</p> <p>このことについて、事務局から説明してください。</p>
審議事項説明 (石木次長)	<p>この度介護保険施設等の整備計画について事前相談票の提出が3件ございましたので御審議をお願いします。</p> <p>まず、資料1-1の1をご覧ください。</p> <p>社会福祉法人弥富福社会から、弥富市内で運営している介護老人福祉施設の定員を10人増設するものについてです。</p> <p>介護老人福祉施設とは、常に介護が必要で自宅での生活が難しい方のための施設であり、介護保険法に規定されている施設サービスの1つですが、老人福祉法では特別養護老人ホームと呼ばれていません。</p> <p>今回は、社会福祉法人弥富福社会が運営する介護老人福祉施設「輪中の郷(さと)」において、併設されている短期入所生活介護(定員30人)の10人を介護老人福祉施設に転換するものです。</p> <p>海部圏域の介護老人福祉施設の整備枠は資料別表のとおり、第9期の整備目標1,431人に対し1,421人であるため、今回の整備計画は整備目標の範囲内に収まっています。</p> <p>今回整備する介護老人福祉施設は短期入所生活介護と併設されており、職員の配置基準は両サービスの利用人数を合算して算定するため、今回の整備を要因とする職員の増員は必要がないうえ、短期入所生活介護の居室をそのまま介護老人福祉施設の居室へ転換するため、整備工事も必要ありません。</p> <p>当施設の入所待機者数と短期入所生活介護の利用実績は資料1-3のとおりですが、入所待機者の増加の傾向と短期入所生活介護</p>

の稼働率を比較検討し、今回の整備により入所待機者の解消の一助となるよう市の第9期介護保険事業計画にも策定されております。

また、資料1-2「介護保険施設等の指定等に関する取扱要領」第4第2項及び第3項の規定に基づいて、弥富市及び管内他市町村へ意見照会を行っておりますが、特段意見はございませんでした。

社会福祉法人弥富福祉会は1991年に設立され、弥富市内で各種介護保険事業を行っておりますが、これまで特に問題等が生じたことはございません。

次に、混合型特定施設の実際の定員を13人増設する2件の施設整備計画についてです。

まず、特定施設とは、有料老人ホーム等（養護、軽費）において介護サービスを提供する介護保険サービス事業所をいいます。

また、混合型特定施設とは、要介護・要支援認定を受けている者及び要介護認定を受けていない者が入居できるものであり、入居者が要介護者とその配偶者等である介護専用型特定施設と区別されています。

資料1-1の2をご覧ください。

アリス有限会社から、愛西市内で運営している混合型特定施設「ハイジの家」(サ高住)に2人定員居室を増設する整備計画についてです。

当施設は個室を標準として運営しておりますが、夫婦での入居を希望する要望に対応するため、2人定員居室を1室から2室に増設する整備計画の事前相談票が提出されました。

当該居室は、従来倉庫として使用していた2階の1室を（水回り等）居室へ転換する整備工事を、サービス付き高齢者向け住宅を所管する県建築局住宅計画課の承認を得てすでに完了しておりますので、本整備計画に伴う工事費用は不要です。

また、定員増に伴う職員配置については、すでに増員後の配置基準を上回る人員を配置してシフトを組んでおり、増員は不要です。

また、資料1-2「介護保険施設等の指定等に関する取扱要領」第4第2項及び第3項の規定に基づいて、愛西市及び管内他市町村へ意見照会を行っておりますが、特段意見はございませんでした。

なお、アリス有限会社は2003年に設立され、他にも介護保険事業を行っておりますが、これまで特段問題は生じておりません。

次に、株式会社エイルサポートから海部郡蟹江町内で運営してお

ります混合型特定施設「介護付き有料老人ホーム天然温泉レガロ蟹江」の実際の入居定員を11人増設する整備計画について事前相談票の提出がありました。

当施設は、現在、18人定員として運営されておりますが、施設敷地の借地契約が満了し、契約更新ができなかったため、町内で移転新築するものです。

施設整備については資金計画が提出されており、自己資金及び県補助金、借入金（16年償還）で賄うこととしており、土地については所有者から30年の借地契約の同意を得ており、令和7年5月の開設に向けて整備を進めることとなります。

また、定員増に伴う職員配置については、ハローワーク等で募集しますが、不足する主に介護職員は、現施設に併設している通所介護の職員等法人内の配置換えで対応する予定です。

また、資料1-2「介護保険施設等の指定等に関する取扱要領」第4第2項及び第3項の規定に基づいて、蟹江町及び管内他市町村へ意見照会を行っておりますが、特段意見はございませんでした。

株式会社エイルサポートは、2012年に設立され、名古屋市内で介護保険事業所や有料老人ホームを運営しておりますが、これまで特段問題はありません。

なお、混合型特定施設の整備枠については、資料1-2「介護保険施設等の指定等に関する取扱要領」第3第2項の規定に基づき、実定員に0.7を乗じて算定することになっており、他種別の施設と整備枠の算定が異なっております。

したがって、海部圏域の混合型特定施設の整備枠は資料別表のとおり、第9期の整備目標357人に対し、347人であるため、今回の整備計画は整備目標の範囲内に収まっています。

以上により、今回の3件の整備計画は「承認」が適切と考えております。

ただ今説明のありました介護保険施設等の整備承認について、何かご質問・ご意見ございますか。

【質問なし】

では、審議事項として提案のありました3つの施設に係る「介護保険施設等の整備承認」につきまして、まとめて採決を行います。

質疑応答  
(奥村議長)

審議議決  
(奥村議長)

<p>報告事項議事進行 (奥村議長)</p>	<p>事務局から提案のありましたとおり審議いただきました 3 つの施設に係ります整備承認を承認される方は恐れ入りますが挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><b>【主席者全員賛成】</b></p> <p>ありがとうございました。提案が承認されましたので、今後の手続きを進めていただきたいと思います。</p> <p>それでは、議事の 2 つ目、報告事項に移ります。 報告事項「愛知県地域保健医療計画冊子の発行について」事務局から報告をお願いします。</p>
<p>報告事項説明 (鈴木主任)</p>	<p>今回の報告事項、「愛知県地域保健医療計画」冊子の発行について説明申し上げます。</p> <p>構成員の皆様には、厚さ 2 センチほどの緑色の冊子をご覧ください。その他の皆様は、資料 2、ホチキス止めになった 7 枚のものをご覧ください。</p> <p>この計画は昨年度の見直しにより策定されました第 8 次の計画でございまして、今日ご出席の構成員の中にもお見えですが、医療計画策定委員会の委員として、あるいは、当推進会議の構成員としてご審議いただきました、その計画案が本年 3 月 18 日に愛知県医療審議会の答申を受け、3 月 29 日に新しい計画として公示されております。この計画期間は本年 4 月から令和 12 年 3 月までの 6 年間となっておりますが、この度このように冊子が発行されましたので、この機会に内容を報告させていただきます。</p> <p>これまでの計画では県内 1 2 医療圏の計画だけで 1 つの冊子となっておりましたが、今回は計画全体が一つの冊子となり、それぞれの医療圏が 1 つの章の中の 1 つの節とされました。これに伴い 1 つの医療圏当たりのページ数が大幅に削減されており、海部医療圏の計画は第 3 部第 12 節の第 2 節として 2 8 4 ページから 2 9 7 ページまで 1 4 ページに亘って掲載されております。</p> <p>恐れ入りますが冊子をお持ちの方は 2 8 4 ページをお開きください。</p> <p>最初の 2 8 4 ページには地域の概況として人口に関する 2 つの表で海部医療圏の人口減少並びに高齢化を確認できる内容となっております。</p> <p>2 8 5 ページ中ほどの主な死因別死亡数、率の表で海部医療圏の健康課題を 4 年前の数値あるいは県との比較できるようになっておりますが、注目する点は死因としての老衰の割合が 2. 8 ポイント上昇したことです。</p> <p>2 8 6 ページでは、保健・医療施設の基準となる時点における個所数、政策的医療の指定状況及び病院等の所在場所を 2 つ表と 1 つ</p>

の地図で表しております。

287ページからは、5つの疾病や6つの事業に係る対策における医療提供体制の状況を現状、課題及び今後の方策についてそれぞれ記載しております。これまで対策ごとの記載は3ページから4ページに亘っておりましたが、今回は1ページに限定されたことから県全体の計画に同じ内容が記載されている場合は省いたり、表の数も最低限にすることでページ数を圧縮いたしました。

ただし、今後さらに進められる病院、診療所、歯科診療所及び薬局による病病連携、病診連携、医科歯科連携及び医薬連携に関することにつきましては、あえて新たに記載いたしました。

287ページががん対策

288ページが脳卒中対策

298ページが心筋梗塞等心血管疾患対策となっておりますが、この3つの対策につきましては現状のところで、標準化死亡比を用いてそれぞれの疾患が海部医療圏は全国平均と比べて死亡者が多いのか少ないのか分析するとともに医療提供の状況を説明しております。

課題のところでは、ほとんど連携を図ることや生活習慣病対策が必要としており、今後の方策では、それらを進めるとしております。なお、この記載内容は、この後の対策でも多く見られます。

290ページが糖尿病対策ですが、現状のところでトピックスとして「海部地区・津島市糖尿病性腎症重症化予防事業連絡調整会議」を取り上げております。

291ページが精神疾患医療対策ですが、現状のところで精神障害疾患分類別人数を記載し精神障害者の把握状況を説明しております。

292ページが救急医療対策ですが、現状として消防本部別の収容所要時間別搬送人員の数値を記載し、救急搬送の状況を表しております。また、課題と今後の方策としてAEDの取扱いについて特に取り上げております。

293ページが災害医療対策ですが、課題として液状化や津波到来により自らが被災し、医療救護活動が困難となることを想定する必要性を上げております。

294ページが新興感染症発生・まん延時における医療対策ですが、この対策につきましては、これまでの計画には記載がございませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大で浮き彫りになった様々な課題に対応するため新たに追加されました。

295ページが周産期医療対策ですが、現状として地域周産期母子医療センターである厚生連海南病院が地域において高度専門的な医療を提供していることを受け、今後の方策として周産期ネットワークの充実強化を図ることを記載しております。

296ページが小児医療対策ですが、現状として小児科の医療施設従事医師数が15歳未満人口1000人当たりで県の数値の半分しかないことから、その確保が課題であるとしております。

	<p>最後の297ページが在宅医療対策ですが、現状のところトピックスとして「海部医療圏在宅医療介護連携センター」いわゆる「あまさぼ」を取り上げております。また、地域包括ケアシステムの充実が課題であり今後の方策でもあるとしております。</p> <p>この新しい計画が海部医療圏における医療提供体制のグランドデザインとなりますので、今後、皆様と一緒に実現に向けて取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>簡単ですが、海部医療圏に係ります地域保健医療計画の報告は以上になります。</p>
<p>質疑応答 (奥村議長)</p>	<p>ありがとうございました。 このことについて、ご意見・ご質問はありますか。</p> <p style="text-align: center;"><b>【質問なし】</b></p>
<p>その他議事進行 (奥村議長)</p>	<p>最後に、その他として事務局から何かありますか。</p>
<p>議事録案内 (安藤補佐)</p>	<p>会議の冒頭に申し上げましたとおり、本日の会議の公開部分の内容につきましては、後日会議録として愛知県のホームページに掲載することにしております。</p> <p>掲載内容については、事務局が作成したものを発言者の方に御確認いただくことしておりますので、御協力お願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>議事終了 (奥村議長)</p>	<p>本日の海部圏域保健医療福祉推進会議の議事は、これで終了いたしました。</p> <p>皆様の御協力によりまして、議事が順調に進行できましたことを感謝申し上げます。</p> <p>それでは、事務局に進行をお返しします。</p>
<p>閉会 (加藤次長)</p>	<p>奥村様、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、これもちまして、「令和6年度 第1回 海部圏域保健医療福祉推進会議」を終わらせていただきます。</p> <p>構成員様におかれましては、交通事故などにお気をつけてお帰りください。</p>